

八女茶で健康 第52回

第10回海外福岡県人会世界大会で八女茶PR

福岡県から海外への移住は1885年（明治18年）にハワイへ129名の方が移住されたことが始まりとされています。その後、現在まで約5万5千人の方々が移住されています。福岡県人会には、移住県人会と企業県人会があり、北米、中南米、欧州、アジアなど24カ国、39地域にあります。世界大会の始まりは、1992年のアメリカ、ロサンゼルスでした。以来3年に1度開催され、今年は、11月6日～10日まで6年ぶりに福岡県内各地で開催されました。この開催日程のうち、福岡県茶生産組合連合会（県茶連）は、八女市矢部村の原島県茶連理事の協力を得て、福岡市のソラリア西鉄ホテル福岡で開催された「さよならパーティ」で抹茶・氷水出し玉露・煎茶・ほうじ茶・紅茶を呈茶・販売しました。原島理事は、若いころブラジルで研修した際、福岡県人会と深いつながりを持ち、パーティ招待者の一人となっていました。どの茶種にも「八女茶はおいしいね」と感動される方々も多く、何度も呈茶・販売コーナーに来られました。



小川県知事(左から2番目)もPRIに一役

その中に、「あら！」とお声をかけて頂いた方がおられました。みやま市出身でフランスのル・マンにお住いの野口さんでした。私がフランス各地で八女茶PRに行ったとき、現地のフランス人を紹介頂くなど大変お世話になった方でした。また、カナダのトロントで日本料理レストランを営んでいる方が早速八女茶の商談をされました。福岡県では、小川知事はじめ、県国際局や県国際交流センターの皆さんが八女茶を熱く支援されています。今後、世界の福岡県人会とのパイプを大きくして八女茶の輸出につなげていこうと考えています。

福岡県茶生産組合連合会 事務局長 仁田原 寿一



八女市高塚 末廣 久枝

おりなす八女研修棟で開かれるはつらつ水墨画教室に月2回出かけて、樋口万亀先生の指導を受けています。生徒さんは10名余です。習い始めて13年になります。途中休んだりしていますのでなかなか上達しません。画題を決めて墨一色で和紙の上に表現する水墨画は、濃淡やにじみの出し方に熟練が必要で、それでも先生を始め教室の皆さんと過ごすのは和気あいあいでも楽しい時間です。これからも体力、気力の続くかぎり続けていきたいと念じております。

今月の一冊

今月のオススメ本
AI vs. 教科書が読めない子どもたち
新井 紀子 / 著
東洋経済新報社 / 刊
2018年



科学技術が加速度的に進展する現代社会。人工知能の未知なる可能性を探るため、「ロボットは東大に入れるか?」と名付けたプロジェクトが企画されました。AIは数の記憶には優れた能力を発揮するものの、言葉の意味の理解には大きな壁が立ちただけ、この命題は達成されませんでした。人間であれば小学生でも理解が可能な主語、述語、目的語などの基本構造も、ロボットにとっては判断が難しく、正しい文章理解は不得手であることが証明されました。巷では、「大半の職がロボットにとって代わる日も近いのでは…」とささやかれるなか、AI化の社会にあっても言葉の正しい理解と判断が求められており、この能力の獲得こそが人類の存在意義を確かなものにすると思われま。

八女市立図書館係長 大島 真一郎

◆ 12月のイベント案内 ◆

- 筑後市立図書館 ☎0942-51-7200
 - 毎週土曜日おはなし会
 - 11:00～ 幼児から小学生対象
 - 12月7日(土) 11:00～
 - ふゆのでっかいおはなし会
 - ご家族そろってお楽しみいただけます
 - 12月20日(金) 9:30～
 - ゆっくり読書タイム 要予約
 - 託児申込・未就学児まで
- 広川町立図書館 ☎0943-32-1163
 - 12月4日(水)
 - ①10:00～ ②14:00
 - プチシアター 綾小路きみまろ最新ライブ
 - 12月7日(土)・15日(日)
 - 10:30～ 定例お話し会
 - 12月12日(土) 13:30
 - 参加費 800円
 - 博多人形干支絵付け体験講座
- おりなす八女 ☎0943-22-5332
 - 12月1日(日) 15:00開演
 - 井上ゆかり ピアノソロコンサート
- サザンクス筑後 ☎0942-54-1200
 - 山崎まさよしコンサートツアー2020
 - 2020年2月24日 17:30～
 - チケット発売 会員12月7日(土) ¥6,600 一般12月21日(土)
- 九州芸文館 ☎0942-52-6435
 - 12月1日(日)

- 「第2回変身空間in九州芸文館」 ※入場無料 コスプレ意匠展。好評につき第2弾を開催
- 12月14日(土)～2020年1/26(日)
 - 「船小屋クラフトトリエンナーレ」
 - 3年に一度のトリエンナーレを毎年違うジャンルで、開催!
 - ※観覧料:無料
- 九州国立博物館 ☎050-5542-8600
 - ～12月22日(日) 縄文王国やまなし
 - ～12月22日(日) 版経東漸
 - ～1月5日(日) 特別展「三国志」
- 12月15日(日) 9:30スタート
 - 八女市駅伝大会 八女市立花運動場



クラッシー文芸

■ ひろかわ俳句会
手つかずに荒れたるまよ竹の春
吊橋のゆれて紅葉の風わたる
一山のここに始まる初紅葉
想ふこと尽きぬ白萩こぼれ咲く
ほの香る桜紅葉や雨催ひ
乳匂ふバギーを覗く秋の蝶
苔の道秋海棠にみちびかれ
また一つ越えて歓喜の紅葉峽
易易と渡る吊橋紅葉谷
うすもみぢ探しあぐねて行き止まり

■ 筑後俳句会
五個盛りの輝やく柿を皆もとむ
茗荷の子我もわれもと頭出す
女童の見せ合ふ紅葉宮の杜
南蛮煙管鉢に咲かせて人を恋ふ
秋日さし気の合ふ友と檜の湯
覚悟して鬼触るかに栗拾ひ
石人の昔を偲び芒散る
盲導犬静かに座る秋日和
新諸の百円ぼっち売り仕舞ふ
朝露にスポンを濡らし一仕事

■ 立花短歌会
すくすくと伸びて花咲く辛夷の木そよ吹く風
は植えたる妻か 井上 精
洪水時凶器となつて川下る放置されたる風倒
木は 橋本 泰州
山の杉切りて建てたる我が住み家銭倉たてね
ど心よきかな 松尾ミサキ
裏庭の櫛の木の葉ひらひらとわが人生と歩調
をあわせ 鶴 隆治郎
ふるさとの河岸の桜木切り取られ思い出いと
つまた消え去りぬ 野中 裕政
山かげの雑草畑のかたわらの小さき柿の実色
づきはじむ 櫻木 敦子
香り立つ金木犀の花ひらくその香なつかし学
舎の庭 鶴 邦子
庭先の木はざわざわと騒ぎだし雨が降ると
知らせてくれる 中島 睦美
洪水に流れつきたる流木は見事なまでの花器
に変身 樋口 愛子
台風で木の落葉した木の梢にもずは上下に尾
をふっている 田中たつじ